

がん・脳卒中・心臓病の三大疾病と
運動器疾患中心の
高度急性期病院としてオープン。



ごあいさつ

理事長
齋藤 孝次

この度、社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院が完成し診療を開始します。関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

北海道大野記念病院は、「がん」「脳卒中」「心臓病」の三大疾病と運動器疾患を中心とした高度急性期の病院として最新の診断機器と治療設備を整備し、救急医療にも対応できる体制を構築しております。また、三大疾病を中心とした高度な健診事業を行ってまいります。

病床数は276床で、8室の手術室には高度医療機器の術中MRIやO-arm、ハイブリッド室、ダヴィンチXiが整備され、低侵襲な心臓・脳・脊椎脊髄手術等を行います。また、ロボット技術を駆使した最新のリハビリテーションを行います。

高機能放射線治療システムとして、道内初導入となるサイバーナイフ、最新のトモセラピー、さらには、平成30年稼働予定の陽子線治療システムを整備致します。放射線治療施設で3つが揃う施設は国内で当院だけとなる予定です。



副理事長・院長
大野 猛三

心臓血管センター北海道大野病院は、昭和62年、札幌市西区西野に開院して以来、30年間心臓血管センターとしての役割を担ってまいりましたが、この度の新築移転を契機に、がんや脳疾患を加えた三大疾病と運動器疾患を中心とした急性期医療を展開していく病院として、新たなスタートを切る事になりました。

新病院では、最新の医学的叡智と機器を駆使し、患者さまに優しく、より安全で苦痛の少ない医療の提供を目指すとともに、地域の救急医療に貢献していきたいと思っております。

また、未来の医療人の育成と次世代への継承をめざしてまいります。

<http://ohno-kinen.jp/>



社会医療法人孝仁会
北海道大野記念病院

2016年
10月15日(土)
開院

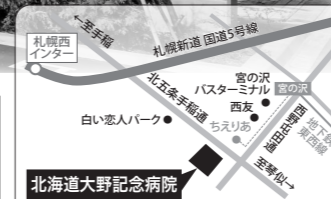
住 所 / 〒063-0052 札幌市西区宮の沢2条1丁目16番1号 TEL 011-665-0020

【病院概要】

- 病床数 / 276床 (一般病棟、ICU、SCU)
- 手術室数 / 8室 (術中MRI、O-arm、ハイブリッド室、ダヴィンチXi)
- 診療科目 / 脳神経外科、心臓血管外科、消化器外科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、外科、内科、婦人科、泌尿器科、腎臓内科、神経内科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、麻酔科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、リハビリテーション科

【建物概要】

- 敷地面積 / 12,117.93㎡
- 延べ建築面積 / 26,659.82㎡
- 構造 / 鉄筋コンクリート造 + 鉄骨造
- 階数 / 地上7階建



【アクセス】

- 地下鉄 / 地下鉄東西線「宮の沢」駅下車徒歩約6分
- 車 / JR札幌駅から道道124号線(旧5号線)で約25分。新千歳空港から高速道路で約60分(札幌自動車道新川インター下車約10分)
- バス / JR札幌駅前バスターミナル(小樽行き)から「西町北20丁目」下車徒歩約3分



施工のポイント

開院目標へ向け、
様々な生産性向上施策を実施

今回のプロジェクトは最先端の医療機器を設置する難易度の高い工事であることから、北海道支店のみならず、本社医療関係部門の支援を受けるなど、全社体制で臨みました。

医療対応の仕上工事には多くの工種があり、通常より長い工事期間が必要でした。前作業の躯体工事は複雑で手間がかかるものの遅延させることができないため、生産効率を上げる取り組みを行いました。

柱の鉄筋や壁の型枠パネルは予め工場を組み立て、現地での取付作業を削減しました。また三階より上階の外壁はプレキャストコンクリートパネルを使用し、現地での型枠、鉄筋の組立、コンクリート打設作業を削減しました。

また、厳冬期の躯体工事には雪よけおよび採暖用に大スパン仮設屋根パネルを使用し、支柱の少ない広く作業しやすい空間を確保し、躯体工事を効率的に進め、盛替え作業日数も削減しました。

この他、様々な施策を行うと共にモバイル機器を活用した最新の施工管理手法も取り入れ、検査記録の現地作成、電子化による迅速化を行いました。また各職長にも使ってもらい、現場の状況をタイムリーに共有、様々な改善に役立て、コミュニケーションツールとしても活用しました。その結果、スムーズな施工につながり、工程面だけでなく、安全面、品質面においても大きな効果が得られ、無事故無災害、予定通りの竣工引渡しを達成しました。

設計のポイント

高度医療による三大疾病の治療と
使いやすさ・わかりやすさを両立

最初に病院構想のお話を伺ったのは2013年9月。理事長より、すべての人が使いやすい病院としたいこと、そして三大疾病の治療のため、数多くの最先端の医療機器を設置することなどを伺いました。その実現に向け、病院スタッフの方や医療機器メーカーとの打ち合わせを行い、また同規模の病院を視察するなど入念な準備の元で設計を行い、明確なゾーニングとコンパクトでわかりやすい施設構成としています。

設計において念頭に置いたのは、患者様やお見舞いに来られる方、スタッフの方、そして近隣住民の方々にとって優しい病院であることです。エントランスホールは、樹木の自然な風合いをモチーフとした壁とトップライトからの自然の光が降りそそぐ吹き抜けを設けて、すがすがしい木立ちの中にあるような空間にしました。

各階のインテリアは大地・水・大空などをイメージしたテーマカラーと、北海道の動物や花のシルエットをデザインすることにより、子どもや色覚障害を持つ方でも覚えやすく分かりやすい院内のウェイファインディング—自分のいる場所の分かりやすさに配慮したサイン・デザイン—に配慮しています。病棟階においては、緑豊かな周辺環境や自然光を内部に極力取り入れるため開放感のある大きな窓を配置したのも特徴です。病室の横長の窓からは手稲山から遠く石狩湾を望む景観が楽しめ、またフロアの中央部に吹抜を配置することで、明るく開放感のある病棟としています。

外装においては、建物の低層部と高層部のボリュームを分節することで周辺への圧迫感を少なくし、かつ全病室の眺望を確保しました。高層部の外壁には大理石などの質感をイメージした白い塗装とシャープな横連窓で構成し、最先端の医療施設にふさわしい外観としています。

親しみやすさとわかりやすさを心がけ、治療に専念できる環境を建築主・設計・施工・協力会社で連携をとりながら竣工を迎えることができました。

設計・施工

竹中工務店

北海道支店 / 札幌市中央区大通西4-1 TEL 011-261-2261

施工

株式会社 田中組

札幌市中央区北6条西17丁目17番地の5 TEL 011-611-3331